

サンダー掛けポリウレタン樹脂塗装 施工要領

(1) サンダー掛け

平滑な床面に研磨仕上げを行う。研磨機は、ドラムサンダー（室内中央部）、ポータブルサンダー（壁際等）を使用する。

荒掛け	サンドペーパー #24～40 を使用し、段差・キズ及び汚れ等を取り除く。
中掛け	サンドペーパー #50～60 を使用し、段差・キズ及び荒掛けサンドペーパーの目払いを行う。
仕上げ掛け	サンドペーパー #80～120 を使用し、中掛けサンドペーパーの目払いを行い、塗装仕上げ面の素地を作る。 (戸田研磨工業㈱のフローアースンドペーパーを使用する)

ドラムサンダーを使用する電力にあたっては、動力 200V3 相 3 線の電源をご手配願います。

(2) ポリウレタン樹脂塗装

広い部分は柔らかい羊毛皮をつけたアプリケーターを、狭い周囲は刷毛を用いて塗装する。

1 回目塗装（下塗り）

1 回目塗装は、施工面を真空掃除機にて清掃し、ポリウレタン樹脂を特に木部の細胞に深く浸透させることにより、組織細胞と完全に同化させ、強化木を作り上げるように十分に塗り込んでいく。塗装終了後は標準規定乾燥以上放置して乾燥させる。

1 回目サンディング

次回の樹脂の密着を高めるため、また 1 回目の塗装のムラをなくすため、布ペーパー又はメッシュ #100～120 を使用して塗装面を入念にサンディングし、掃除機により集塵・清掃を行う。

2 回目塗装（中塗り）

1 回目塗装と同じ。

2 回目サンディング

1 回目サンディングと同じ。

3 回目塗装（仕上げ塗り）

1 回目塗装と同じ。

(3) コートライン引き (3 回目塗装前)

各コートライン寸法測り出し

テーピング

刷毛にて着色塗装

テープはがし、ライン塗料はみ出し修正